

TAP（徳地アドベンチャー教育プログラム）指導者養成講習会

令和2年1月11日（土）～13日（月）

【目的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下、TAP）の実習や講義を通して、チームビルド等の人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークの指導者に求められる知識・技能を習得する。

また、本指導者養成事業は弊所の研修支援団体へのTAPの外部指導員の育成のカリキュラムの1つとし、外部指導員確保も同時に目的としている。

【参加者】 17名

【プログラムの内容】

1日目

11:00 開講式、オリエンテーション
セッション①
13:30 セッション②
「アイスブレイク・ローエレメント」
19:00 セッション③
「理論、being」

2日目

9:00 セッション④
「ローエレメント」
13:00 セッション⑤
「ローエレメント等の特性」
19:00 セッション⑥
「理論、ルーブリック」

3日目

9:00 セッション⑥
「シーケンスについて」
13:00 セッション⑦
「シーケンスについて」
16:00 閉講式

セッション①



これから様々な学習を共にする仲間になるという事で、お互いを知り、リラックスできるようにアイスブレイクを行いました。



セッション②



午後からは課題解決をしながらグループの変容を体験すると同時に、自らと向かい合いながらグループと関わっていく体験をしました。

自分の中でどこまでチャレンジするかをグループの目標と照らし合わせ葛藤を繰り広げていました。



セッション③



夜は、1日体験してきたことをbeingに落とし、それをTAPの理論に照らし合わせて、体験的に学んだことを理論として落とし込みました。

セッション④



午前中は、エレメントの雨天モデルを体験すると同時に、グループの発達を体験した。

また、心の変化にもスポットを当ててグループ内で様々な話し合いをした。

セッション⑤



午後からはエレメントやアクティビティでえられる効果や、安全管理、バリエーションなどを出し合いまとめました。



セッション⑥



2日目の夜はグループを見る視点を学習し、それをもとに、グループの評価指標を作成しました。



セッション⑦⑧



最終日は、仮想のグループに対しファシリテーションすることを前提にグループで組み立てました。

また、組み立てたものをお互いに発表し、フィードバックに基づいてく見直しを行った、

【参加者の声】

丁寧に企画されていて、スムーズに吸収できた。

一番知りたかった内容だったが、体験をもとに説明がされたことで、落ちた知識がたくさんあった。

内容が濃く、すごく良かったです。

【成果と課題】

職員が講師を務める形での開催が2年目を迎えたが、まだまだ改善の余地があると思う。また、職員の資質向上の機会が今以上に必要と考える。

来年度以降の開催に向けて継続的に質を維持できるよう、職員の引継ぎ、育成のカリキュラムの改訂も必用であると思う。